



駆ける！因伯路

話題あれこれ

◆4◆

佐治川の清流と和紙、そして「やる気地蔵」で知られる八頭郡佐治村は人口約三千六百人、県内では少ない方から四番目。佐治ランナースは、この小さな村のマラソン愛好者でつくっている。大会の出場は今回が初めてで、監督の船越修さん(三九)佐治中学校教諭は「伝統の米子―鳥取間への出場はクラブの以前からの夢でした。とてもうれしいと同時に、大会関係者の迷惑にならないか勢いに乗って米子―鳥取間への初挑戦が決まった。」

ランニング好きなら子供や老人でも入れる地域クラブとして、五年ほど前に結成された。メンバーは二十歳から八十歳までのおよそ二十人で、(三九)県信連勤務、十一区は、船越監督に誘われてトライアスロンの魅力にとりつかれ、昨年はハワイの国際大会に出場した。

初出場に燃える

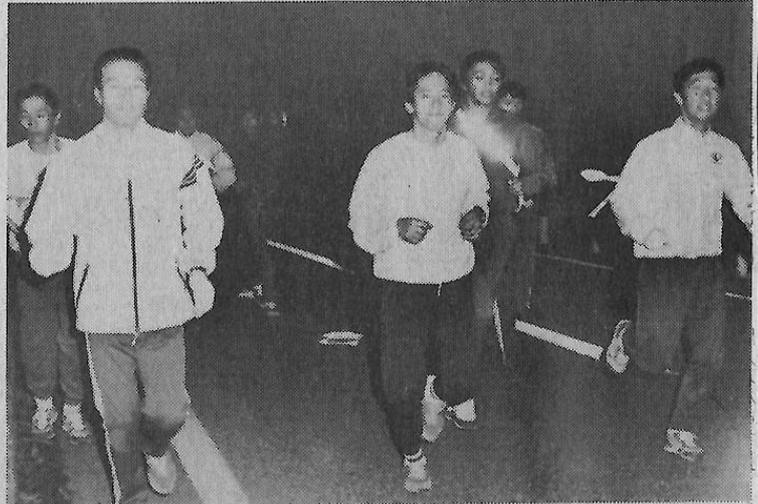
(佐治ランナース)

だったが、十三人の選手の確保が難しく、あきらめていた。ところが、十月十日、同村を会場に開かれたリレー主体の八頭郡民体育大会で、総合成績三位を獲得。開催地の意地をかけた村の応援で、選手らが早くから練習に取り組んできた成果の表れだった。これまで総合七、八位から一挙に躍進しただけに、メンバーの間から「やれ

あこがれの舞台 意気高く

に、練習量は十分。ただ、職場がまちまちなだけに、全員が顔をそろえたことは一度もない。選手は辛うじて確保できたものの、当面、大会当日のスタッフの確保が悩み。何人か協力者も名乗り出ているが、選手が交代でスタッフ要員に

合同練習は毎週水曜日夜。村役場が集まって五―十キロ走る。那体に向けてこの春から同じ練習をこなしてきただけに、練習量は十分。ただ、職場がまちまちなだけに、全員が顔をそろえたことは一度もない。選手は辛うじて確保できたものの、当面、大会当日のスタッフの確保が悩み。何人か協力者も名乗り出ているが、選手が交代でスタッフ要員に



初出場を前に合同練習に励む佐治ランナースのメンバーたち―佐治村

佐治ランナース

下田

監督	船越	修36	//	中谷	均26
選手	船越	修36	//	士田	智明29
//	山本	誠41	//	西尾	宏29
//	安部	富男20	//	谷上	和雄35
//	井上	知仁24	//	山本	潔50
//	井上	透23	//	下田	省吾33
//	谷本	春男24	//	上田	道雄27
//	岡本	正美47	//	小松	伸男20
//	大野	一好39	//	田中	精夫36
//	小谷	明男20			



外国人選手も力走

○：「調子、だいじょうぶ！」。佐治ランナーズの二区を走ったジェイソン

・M・プリストリーさん
 (三巴) 佐治中講師、写真Ⅱは大会史上二人目の外国人選手。秋の運動会での健脚ぶりを見込まれてスカウトされた。



イギリスではサッカーのストライカーだっただけ

に、一カ月半の練習で早くもチームの中堅選手に。レースでは8・4キを31分9秒で快調に走り切り、順位をキープ。「応援があったので楽しかったです」と彼れも見事にゴールして

1991年

助っ人

佐治ランナーズの頼もしい助っ人として活躍したプリストリーさん。髪を振りかざして力走、また力走Ⅱ2区、名和町の大雀海岸



「高校スキーも頑張る」

八頭高強化選手タスキリレー

八頭高の12区・船越智也は、ともに来年二月、大山選手、13区・小谷泰司選手で開かれる全国高校スキー



八頭高の船越選手⑥、小谷選手は全国高校スキー大会の強化選手。12区、13区でタスキリレーし、追い上げに貢献した。鳥取市金沢、12区・13区中継所

大会クロスカントリー競技の強化選手だ。

同高の強化選手は、初日、6区を走ったアルペンの前住孝行選手、クロスカントリーでも両選手以外に男子二人、女子一人がおり、計六人。両選手とも陸上部に籍を置き、冬場はスキーを履く。もちろん、陸上では長距離が専門。

「スキーの基礎トレーニングのつもりで陸上を始めたら、走るのも速くなった」と船越選手。いよいよスキーシーズン幕開けは間近。二人は「走り込みとウエイトトレーニングを重ね、二月にはいい成績を残したい」と健闘を誓っていた。

父の夢「親子タスキリレー」実現

「親父、後は任したぞ」よっしゃ、「苦労さん」。難関の三徳越えを前にした三朝町坂本の9・10区中継所で、長い駅伝の歴史の中でも二度目という親子タスキリレーが実現した。佐治ランナーズの大野真哉選手(ニ)と社員(一)が父の一好選手(四)と佐治村役場(二)に引き継いだもので、親子リレーは第三十九回大会(昭和五十九年)以来、十年ぶり。

ランナーズの大野真哉さん・一好さん



「親父、後は任せた」。長男の大野真哉選手(ニ)からタスキを受け取り、元気よく飛び出す一好選手(一)＝9・10区中継所、三朝町坂本

8区を走ったのに対して一好のため「いつかは息子のタスキが初日の4区だった。こ

に期待しながら、毎日十キロ程度を走り込みその日に備えていたという。

それが今回、持ち前の粘り強さとキャリアを見込まれた一好選手が駅伝名物の「山越え」に抜てきされたことから「意外に早く」夢が実現した。

友人の結婚式で前夜は深酒になり、そのためか、疲れきって駆け込んだ中継所手前で、何か叫んでいる父親の姿に「安心した」という真哉選手。倒れるようにしながらタスキを握り締めた息子の姿に「ジーンとするものを感じた」と父。息子の汗のしみ込んだタスキを素早く肩に回し、魔の山登りに向かって飛び出した。

た。

親子で同一区間走

○…親子で同じ区間を走ったのが、佐治ランナーズの船越修選手(四)と息子の八頭高三年・智也君(一七)。「同じ区間を走れたらいいなあ」の思いが偶然にも通じ、実現した。

とくに智也君は「この大会は最後なのでいい記念になった」と感慨深げ。12・5キロと最も長い十二区は各チームとも主力を投入する



区間。昨年は「もつやりた

親子そろって最長12区を力走した船越修(左)・智也両選手

くない」と思ったが、ことはエースとして自分に勝つために再挑戦した。

一方、父親の修さんは「記録のことは考えず、参加することに意義がある」と走り終え、ホッとした様子。

「来年、下の息子が高校生になるので、また一緒に走りたい」と夢を膨らませていた。

第69回
米子・鳥取間
駅伝

佐治ランナーズ復活



「欠場者を出さず、15人でたすきをつなぎたい」。10年前のユニホームを手に意気込む下田監督兼選手（右）と今回のユニホームを持つ下石さん

10年ぶりたすきつなぎ

8日、どらドラパー 下田智明監督兼選手 結成されたチーム。1 ク米子陸上競技場で号(56)は「佐治は元気が 砲を迎える「第69回来 そといつことをアピー 子―鳥取間駅伝競走大 ルしたい」と意気込ん 会―一般の部に、佐治 ている。

ランナーズが10年ぶり 旧佐治村のランニン 4年を最後に大会出場 ームを組めなかったか らだ。

選手の高齢化に加よさは「一体感」と下田 え、若手が流出し、新 さんに協力して、未経 験者や愛好者に声を掛 けて回った。

粘り強い働き掛けが 実を結び、ようやく出 場にこぎ着けた。毎週 土曜日に練習時間を設 けたものの、一度も全 員がそろつことはな く、各自が自主トレー ニングで大会当日に備 える。

重要区間の1区を担 うのは下田さん。10年 前にも走ったチーム最 年長の66歳、上田幸男 さんが4区を走る他、 未経験者ながら期待の 若手も走る。

「もう一度、米鳥間 駅伝に出たい」。今春、 退職を機に地元に戻っ た下田さんは強い思い を秘め、チーム再結成 のために動いた。

運動不足の解消にマ ラソンを始めた下田さ ん。駅伝経験はなかつ たが、前監督の船越修 さんに誘われてチーム に参加。「走ってみる と書かれた伝統のユニ と、たすきをつなぐこ とがおもしろくて。世 代を超えて仲間が広が った」という。

10年前に走ったメン バーで地区体協の役員 も務める下石直生さん (40)も「走ってくれた が待ち遠しい。」

（三野陽一）



【131】佐治ランナーズ

- | | |
|-------|------|
| 下田 智明 | 【監督】 |
| 下田 智明 | 【選手】 |
| 吉田 裕 | 23 |
| 船越 修 | 63 |
| 奥田 卓志 | 35 |
| 上田 幸男 | 66 |
| 竹本 昭治 | 58 |
| 小塚 勝也 | 43 |
| 谷本 貴之 | 31 |
| 上田 修 | 40 |
| 右近 保彦 | 42 |
| 谷本 迪夫 | 29 |
| 露木 秀樹 | 24 |
| 甲中 隆博 | 31 |
| 甲中 謙吾 | 44 |
| 谷本 和典 | 30 |
| 岩井 良 | 40 |
| 山根 秀敏 | 51 |
| 下石 直樹 | 40 |
| 谷口 英樹 | 40 |



米子・鳥取間駅伝競走大会
一般の部
佐治ランナーズ
監督 車
鳥取陸上競技協会
山口新聞

【130】佐治ランナーズ

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 戸田 | 南條 | 藤原 | 田中 | 田中 | 山根 | 吉田 | 露木 | 谷本 | 上田 | 下田 | 大野 | 小塚 | 岩井 | 船越 | 岡本 | 加藤 | 下田 | 【監督】 |
| 隆宏 | 裕之 | 悟 | 隆博 | 謙吾 | 秀敏 | 裕樹 | 貴之 | 修 | 智明 | 真哉 | 勝也 | 良 | 修 | 芳勝 | 貴志 | 智明 | | |
| 40 | 43 | 35 | 32 | 45 | 52 | 24 | 25 | 32 | 41 | 57 | 42 | 44 | 40 | 64 | 39 | 31 | | |



歴代選手の思い背負い

佐治ランナーズ、ユニホーム刷新



背中の「EKIDEN」の文字に歴代の選手名を入れたユニホーム(中央)で最下位からの巻き返しを誓う佐治ランナーズのメンバー

昨大会に10年ぶりに復活出場した佐治ランナーズ。今年は1987年の初出場から今大会まで歴代の選手名を背中の「EKIDEN」の文字内に刻み、レースに挑んだ。

旧佐治村で健脚自慢が集まりチームを結成。村にゆかりのある選手に協力してもらう

などして出場を続けてきたが、チームづくりが一時困難になり、大会から離れた。復活した昨年の大会では、ユニホームを人数分そろえることができず、ビブスなどにゼッケンをつけて出場した。今年の大大会から「せっかくなら」と、これまで大会に出場した全選手59人の名前を刻んだ。佐治中に来ていた外国人講師の名前もある。昨年は最下位。今大会初日も最下位に甘んじたが、2区を走った下田智明さん(57)は「これまでの選手の思いを込めて走り抜けた」と巻き返しへ力を込めた。

2019年最後の大会出場（2020年以降コロナ禍のため中止となりそのまま大会は再開されることなく廃止となった。）

監督復帰までチームを守る 病気回復願い力走



初代監督の船越修さん(68)を今季改めて監督に迎えた佐治ランナース。病気療養のため現場に来られない監督の分までたすきに思いを込め、力走を披露した。選手と監督代行を兼任する下田智明さん(61)は「毎年メンバーを集めるのもやっとだが、船越先生にもまた出てもらいたい」と発起人の復帰を待つ。

船越さんは1987年に佐治ランナースを立ち上げた。小中学校の教諭でクロスカントリースキーや駅伝の指導でリーダーシ

佐治ランナース



チーム一丸となって走り切った佐治ランナース = 倉吉市営陸上競技場

ップを發揮し、チーム在籍者のおよそ半数は教え子や元同僚だ。

6区を走った大野真哉さん(46)は旧佐治中で指導を受けた。「同じ区を昨年も走り、タイムを30秒ほど縮められた。先生に元気になってほしい」と回復を願う。

チームは2004年以降の10年間、メンバーの高齢化で参加できない時期があった。近年は下田さんが監督を務めてきたが「船越先生あつての佐治ランナース。チーム存続に努めたい」として、人と人がつながる大事な場所を守り続けるつもりだ。

(後藤昇一郎)

通算総合成績

1)自衛隊米子	6時間5分40秒
2)東伯郡	6時間7分59秒
3)鳥取城北高	6時間14分31秒
4)八頭高	6時間18分35秒
5)布勢AC	6時間23分4秒
6)チームタスキ	6時間30分14秒
7)雲南市	6時間32分6秒
8)TAPs	6時間35分9秒
9)鳥取育英高	6時間40分42秒
10)倉吉市	6時間49分25秒
11)西部消防	6時間52分45秒
12)鳥取大B	6時間54分16秒
13)倉吉市	6時間57分40秒



箱下門露谷田山蔵下谷下谷大岩岡小山中
 崎石 木口中根光田本本田本野井本塚本島
 【選手】 船越 【監督】
 未直充秀健謙秀洋智和洗貴真 芳勝伸隆
 里生和樹太吾敏平明典溜之哉良勝也輝輔
 33 45 46 29 29 49 56 41 61 35 19 36 45 43 43 48 23 25

(126) 佐治ランナース